

沖縄県 労働基準協会だより



主な内容

- 令和 4 年度通常総会を開催
- 各地区安全管理推進大会を開催
- 全国安全週間
- 免許試験 (沖縄会場第 1 回目) 受験申請書の受付について
- 沖縄産業保健総合支援センターからのお知らせ
- 沖縄労働局から
 - ① 令和 3 年労働災害・死亡災害発生状況 (確定値)
 - ② 令和 4 年労働災害・死亡災害発生状況 (5 月末現在)
- 講習会のご案内 (令和 4 年 8 月分)
- 新規加入事業場のご紹介 (令和 4 年 5 月 16 日～6 月 15 日)



ロウニンアジ

方言名でガーラと呼ばれ、世界最大のアジの仲間である。釣り人の間ではGT (giant trevally の略) と呼ばれて人気が高い。海中で希にみかけるが、近づくことが難しい。(撮影地 宮古島市下地島、撮影者・写真提供者: 松野豊氏)

発行所 / 一般社団法人 沖縄県労働基準協会
〒900-0001 那覇市港町 2-5-23
電話: 098-868-2826
FAX: 098-869-1714

発行人 / 会長 古波津 昇
定 価 / 1 部 50 円
(会員の購読料は会費の中に含む)

ホームページ <https://www.okinawa-roukikyo.org/>

令和4年度 通常総会を開催しました。

(一社) 沖縄県労働基準協会は、去る6月14日(火)、沖縄ハーバービューホテルにおいて、令和4年度通常総会を開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、通常どおりの開催とした結果、書面議決415件、委任状715件、出席者80名のもと開催しました。ただ懇親会については、感染者数は未だ多く収束状況にあるとは言えないことから今年度も中止となりました。

古波津会長のあいさつにより開会し、第1号議案から第5号議案まで審議が進められ、審議の結果、全て原案通り決議承認されました。

議案審議終了後には、西川昌登沖縄労働局長からご祝辞をいただきました。

第1号議案の令和3年度事業報告、決算報告及び会計監査報告においては、特化則の改正によりアーク溶接作業には令和4年4月1日より特定化学物質等作業主任者の選任が必要となり、当該作業主任者技能講習の受講希望が多数となったこと、また、新型コロナウイルス感染症拡大防止として講習会の受講定員を減らして開催したことからキャンセル待ちが多い状態となったため臨時講習を多数開催したこと等により、受講者数が前年度より1,255人の大きな増加となり、事業収益も前年度より2,266万円の増収となったこと等が報告されました。



第3号議案の令和4年度事業計画及び収支予算(案)においては、依然として受講需要の高い「特定化学物質等作業主任者技能講習」の講習回数は増やし、講習定員については、コロナの感染状況をみながら元に戻すこととし、また、キャンセル待ちが多い講習については、臨時講習を開催して対応する等の説明がありました。

第5号議案の役員改選については、菊地毅監事及び平良昭理事が退任されたことから新たな監事に多嘉良 尚子氏(株式会社琉球銀行 人事部長)、新たな理事に樽岡 誠氏(オリオンビール株式会社 執行役員生産本部長工場長)が決議承認されました。

沖縄労働局長ご祝辞

沖縄労働局長 西川 昌登

本日、ここに令和4年度の通常総会が無事に開催されましたこと心からお慶び申し上げます。

沖縄県労働基準協会の皆様には、日頃より労働行政の円滑な運営につきまして、多大な御理解と御協力をいただいておりますことを、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大は、これまで順調に推移していた県内経済を一変させ、事業者及びそこで働く労働者に甚大な影響をもたらしました。

このような中、労働局では、事業者に対して雇用調整助成金をはじめ各種の支援策により、雇用の維持や人材確保を支援していくとともに、やむなく解雇、離職された方に対しては、一日でも早く安心した生活に戻れるよう、再就職に向けた支援に全力で取り組んでいるところです。

今後もウィズコロナ、ポストコロナを見据え、労働行政機関としての役目を果たしていく所存でございます。

一方で、労働者の安全と健康を取り巻く状況は、県内の労働災害による死傷者数は下げ止まっており、また、健康診断における有所見率は高い水準を示すなど、これらの改善が重要な課題となっております。

安全・健康な職場の実現に向けて、労働災害による死傷者数の減少、有所見率の改善、「うちの健康経営宣言」事業場の拡大等に取り組んで参りますので、皆様におかれましても御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

また、働き方改革関連について、時間外労働の上限規制や育児・介護等のライフイベントに則した柔軟な働き方など、新しい時代の働き方の推進に向けて、「雇用の質の向上」「労働条件の改善」「ワークライフバランスの推進」に引き続き積極的に取り組んでまいります。

事業者及び労働者が共に働きやすい職場環境の整備に取り組んでいくことができるよう貴会におかれましても、お力添えの程よろしくお願い申し上げます。

働く人の命と健康確保は何よりも大切なものです。一人ひとりがかけがえのない存在であり、一人の被災者も発生させないという決意の下、日々の仕事がより安全なものとなり、働く人がより健康的な日々を送ることができるよう、さらなる御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴会と会員の皆様の御健勝と益々の御発展を祈念いたしまして、私からの祝辞とさせていただきます。



令和4年度 安全管理推進大会を 3年ぶりに各地区で開催しました!

令和4年度全国安全週間を前に、準備期間である6月に、沖縄県労働基準協会の各支部と関係労働災害防止団体等の共催、各労働基準監督署の後援により、各地区において安全管理推進大会が開催されました。

令和4年度の全国安全週間のスローガンは、「安全は **急がず焦らず怠らず**」です。

「人命尊重」の基本理念の下、自主的な労働災害防止活動を推進し、安全意識の高揚と安全活動の定着を図るべく、3年ぶりに開催され、各地区の大会に多くの事業場が参加しました。

※宮古地区は、中止となりました。

那覇地区

6月2日(木)、アイム・ユニバースでこ小ホールにて令和4年度安全管理推進大会を新型コロナウイルス感染症予防対策を行った上で開催し、88事業所159名が参加しました。

参加者全員で黙祷を捧げたあと、與儀那覇支部長のあいさつで開会し、與儀那覇支部長からは、「3年ぶりの開催であるが、災害は過去最多を更新しており、本日の大会を契機として、労働災害防止の重要性の認識を更に深め、積極的な労働災害防止活動を展開して欲しい。」との呼びかけがありました。

嘉数那覇労働基準監督署長からは、『労働災害は、近年増加傾向となっている。災害全体の1/4が60歳以上の被災者であるので、高齢者にとって危険な場所や負担の大きい作業を解消し、働きやすい職場環境を目指す「エイジフレンドリー職場」の普及をしていただきたい。万全な安全対策でもちょっとしたタイミングで災害は発生する。安全対策は「不変」で「地道」なものであるが、今年のスローガンにある「怠らず」を特に意識して日々の活動の継続をしていただきたい。』旨の来賓あいさつがありました。

渋谷那覇監督署安全衛生課長からは、全国安全週間に向けての取り組み、特に災害が多発している転倒災害、はしご・脚立からの転落災害、熱中症、移動式クレーンの転倒災害の防止対策等についての説明がなされました。

特別講演では、大塚製薬(株)那覇出張所の大塚和生氏より「コロナ禍における熱中症対策」と題して、暑い環境に体をなれさせる「暑熱順化の方法」や新しい熱中症対策として着目されている「深部体温」について説明がありました。

指差唱和では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から港災防沖縄総支部の安全委員が代表で声出しを行い、参加者は黙読で安全週間スローガンに向かい労働災害ゼロへの決意を新たにしました。

最後に、建荷協沖縄県支部の本原事務局長より大会宣言が読み上げられ、労働災害のない安全で快適な職場づくりを目指すことを誓い安全意識を高めました。



中部地区

6 月 8 日 (水)、沖縄市産業交流センターにて令和 4 年度中部地区安全管理推進大会を開催しました。コロナ禍での初の取り組みであり、換気・消毒・マスクの徹底および大声の禁止等、感染症予防対策とルールの順守で開催し、76 事業所 125 名が参加しました。

参加者全員で黙とうを捧げたあと、共催者を代表し金城中部支部長のあいさつで開会し、金城支部長からは、「本大会を機にゆとりある業務体制を構築し労働災害防止対策に取り組んでいただきたい。」旨呼びかけがありました。

比嘉沖縄労働基準監督署長からは、「高齢労働者の転倒災害等の行動に起因する災害が顕著に増加している。高齢労働者は豊富な知識と経験を合わせ持っている一方、加齢に伴う心身機能の低下が労働災害の要因の一つとなっている。今後も労働者の高齢化が進むと予想され、高齢労働者の労働災害防止が重要な課題である。各職場においても高齢労働者の能力を十分に発揮する事が出来るよう、「エイジフレンドリーガイドライン」による安全・健康対策を進めていただきたい。」旨の来賓のあいさつがありました。

北村沖縄監督署安全衛生課長からは、県内および中部管内における令和 3 年の災害発生状況の説明が行われ、「転倒」と「動作の反動、無理な動作」の行動に起因する災害が 40%を超えており、事業場においては転倒しにくい靴の活用や災害が発生した場所、滑りやすい場所、つまずきやすい場所に掲示や注意喚起するなどの見える化を行い、転倒災害防止に努めて欲しい旨の説明がありました。

特別講演では、大塚製薬 (株) 那覇出張所の 大塚和生氏より「コロナ禍における熱中症対策」と題して講演が行われました。

本大会の安全の誓いが、(株) 開邦工業の 澤岨尚彦氏により読み上げられ、参加者全員の総意により採択された。指差唱和では、建災防沖縄中部分会安全指導者の 松田司氏が代表で行い、参加者は黙読にて行いゼロ災を誓いました。



北部地区

6 月 10 日 (金) 北部会館 3 階研修室にて令和 4 年度北部地区安全管理推進大会を開催しました。3 年ぶりコロナ禍での開催となりましたが、40 事業所 87 名の参加がありました。

参加者全員で黙とうを捧げたあと、玉那覇沖縄産業保健総合支援センター副所長のあいさつで開会し、続いて、仲程建災防沖縄北部分会会長が主催者代表挨拶を行いました。

川満名護労働基準監督署長からは、「北部地区の災害件数は、新型コロナウイルス感染症の影響を除いたとしても平成 29 年以降 5 年連続 100 件以上の高止まり傾向が続いている。熱中症は休業を伴わない軽症事案も多い一方、重症化すると死亡につながるという両極端な疾病で、屋内作業でも発生するリスクがあり、全業種で熱中症予防対策に取り組んでいただきたい。また第 13 次労働災害防止計画の目標達成に向けて決意を新たにゼロ災害を目指した取り組みを共に頑張っていきましょう。」旨の来賓挨拶がありました。

中野名護監督署監督官からは、安全週間趣旨説明、北部地区の労働災害発生状況、労働災害に対する事業主補償と補償例、労働者災害補償保険法及び労災かくし等について説明がありました。

特別講演では、大塚製薬 (株) 健康管理士の 大塚和生氏より「コロナ禍における熱中症対策」と題した講演がありました。

大会宣言が (株) 屋部土建矢羽田朋英氏より読み上げられ、災害を削減し安心安全な職場を築いていくことを宣言し採択されました。指差し唱和では、オパス (株) 照屋秀明氏が代表して声出しを行い、参加者は黙読で安全週間スローガンへ指差唱和を行いました。

最後に、樽岡副支部長より参加者への感謝の言葉のあと「今日のこの大会を契機に、みんなで健康で事故のない職場づくりに取り組み、安全週間はもとより、これから一年間、ゼロ災害を是非達成しましょう。」と閉会挨拶がありました。



八重山地区

6月8日(水)、石垣市民会館中ホールにて令和4年度八重山地区安全大会を新型コロナウイルス感染症予防対策を行った上で開催し、53事業所98名が参加しました。

参加者全員で黙祷を捧げたあと、米盛建防災八重山分会長のあいさつで開会し、建防災指導員らによる指差唱和が行われた。宮良八重山支部長からは、「コロナ禍でも全ての人が安心して働き続けられる労災ゼロの実現を目指すことは重要。八重山地区の労働災害の特徴を踏まえ事業者・労働者双方で労働災害防止の基本ルールを徹底し実現していこう。」と呼びかけました。

上原八重山労働基準監督署長からは、「労働災害は、全国的に増加傾向となっている。八重山地区の昨年発生した休業4日以上労働災害は過去最多の82件で、また、死亡災害も2件発生しており、いずれも熱中症によるものだった。この状況を改善するため具体的・有効的な改善助言を行い八重山地区の安全運動を推進していく所存である。スローガンを心に刻み、より一層の安心・安全な職場づくりに取り組んでいただきたい。」旨の来賓のあいさつがありました。

田村八重山監督署安全衛生課監督官からは安全週間趣旨説明として八重山監督署管内の災害発生状況の説明があり、労働災害の半数を占めているのは転倒と腰痛であるので、今年度のスローガン「安全は急がず焦らず怠らず」を労働者に周知して定着させて欲しい旨の説明がありました。

支部表彰では、(有)大里建設(代表取締役大里光明)と(株)サンシャイン(代表取締役社長赤城賀子)が表彰されました。

最後に、高那八重山副支部長より大会宣言が読み上げられ、労働災害のない安全・安心なゼロ災職場づくりを目指すことを誓いました。



安全は 急がず焦らず怠らず

職場での安全管理は、
確認・声かけが大事!

腰痛注意

転倒注意

SAFE

第95回 全国安全週間
令和4年 7/1(金)→7(木)
開催期間:令和4年 6/1(水)→30(木)

主催者:厚生労働省、中央労働災害防止協会、協賛者:建設業労働災害防止協会、路上移動運送事業労働災害防止協会、消防団労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

第95回 全国安全週間について

今年で95回目となる全国安全週間は、労働災害を防止するために、産業界での自主的な活動の推進と、職場での安全に対する意識を高め、安全を維持する活動の定着を目的としています。

事業場では、労使が協議して労働災害防止対策を展開し、労働災害は長期的に減少してきました。しかし、近年は、就業人口が高齢化し、高齢労働者の労働災害や、転倒や腰痛などの労働者の作業行動に起因する労働災害が顕著に増加しています。これらの災害は、事業者が行う対策だけで防ぐことが困難な場合もあるため、災害防止に向け労使一丸となった取組が求められています。

このような状況下で労働災害を減少させるには、事業者・労働者双方が労働災害防止のための基本ルールを徹底し、それらを守る・実行するための時間的・人力的余裕のある業務体制を構築することが重要です。そのため、今年度は、「安全は急がず焦らず怠らず」のスローガンの下、全国安全週間を実施します。

厚生労働省では、全国安全週間と合わせて、6月1日(水)から30日(木)までを準備期間として、安全広報資料等の作成・配布、安全パトロールの実施、労働安全に関する講習会の開催など、さまざまな取組を実施します。

主催者:厚生労働省、中央労働災害防止協会、協賛者:建設業労働災害防止協会、路上移動運送事業労働災害防止協会、消防団労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

労働災害例

腰痛注意

転倒注意

職場の安全、全国安全週間に関する情報はこちらでも発信しています!

厚生労働省 <https://www.mhlw.go.jp/>

中央労働災害防止協会 <https://www.jisha.or.jp/>

職場のあんぜんサイト <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

あんぜんプロジェクト <https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/>

職場の安全、全国安全週間に関する情報はこちらで検索!

厚生労働省 安全衛生

中央労働災害防止協会 全国安全週間

職場のあんぜんサイト

詳しくは、最寄りの都道府県労働局または労働基準監督署にご相談ください。
厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

令和3年 業種別署別労働災害発生状況

(確定版) 沖縄労働局

業種	令和3年(12月末累計)						確定版	令和2年(12月末累計)						確定版	局計令和2年比較	
	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計		那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計		増減数(人)	増減率(%)
製造業	(2) 109	63	10	14	7	(2) 203	86	67	11	3	4	171	32	18.7		
食料品製造業	67	36	8	11	3	125	56	43	6	2	4	111	14	12.6		
鉱業					1	1						0	1	-		
建設業	(1) 87	(2) 73	29	(1) 8	(2) 9	(6) 206	(4) 100	(2) 41	(1) 25	9	3	(7) 178	28	15.7		
土木工事業	(1) 14	(1) 10	8	(1) 2		(3) 34	(1) 15	9	(1) 5	1	1	(2) 31	3	9.7		
建築工事業	62	57	14	3	(2) 7	(2) 143	(3) 85	(2) 32	14	7	1	(5) 139	4	2.9		
交通運輸事業	14	6		1	2	23	18	4	1		1	24	▽1	▽4.2		
陸上貨物運送事業	70	18	1	2	3	94	75	16	1	1	3	96	▽2	▽2.1		
港湾荷役業	6		(1) 1		2	(1) 9	3					3	6	200.0		
林業						0			2			2	▽2	▽100.0		
農業、畜産・水産業	3	5	3	1	4	16	7	6	3	1	6	23	▽7	▽30.4		
第三次産業(運輸を除く)	(2) 457	(1) 386	117	45	54	(3) 1,059	(1) 453	(1) 265	57	37	43	(2) 855	204	23.9		
商業	138	78	14	5	11	246	126	(1) 51	8	7	8	(1) 200	46	23.0		
小売業	71	62	13	4	9	159	70	37	5	5	5	122	37	30.3		
接客娯楽業	41	59	23	10	20	153	(1) 60	33	20	10	9	(1) 132	21	15.9		
旅館・ホテル	15	22	11	3	13	64	14	18	11	5	5	53	11	20.8		
飲食店	24	27	7	4	6	68	(1) 32	13	3	3	3	(1) 54	14	25.9		
保健衛生業	(1) 166	159	57	24	16	(1) 422	155	103	17	10	22	307	115	37.5		
社会福祉施設	(1) 97	98	45	24	14	(1) 278	100	70	12	9	9	200	78	39.0		
ビルメンテナンス業	30	12	10	1	2	55	36	16	2	5	1	60	▽5	▽8.3		
その他の産業	(1) 82	(1) 78	13	5	5	(2) 183	76	62	10	5	3	156	27	17.3		
全産業	(5) 746	(3) 551	(1) 161	(1) 71	(2) 82	(12) 1,611	(5) 742	(3) 399	(1) 100	(0) 51	(0) 60	(9) 1,352	259	19.2		

(注) 1. 労働者死傷病報告により作成したものと、
 2. 被災者数の枠の左側()は死亡者数で内数。
 3. 「▽」は減少を示す。
 4. 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。
 5. 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。
 6. その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜(ビルメン除く)、官公署、その他の事業を示す。

令和3年死亡災害発生状況

(確定版) 沖縄労働局

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数(規模別)	発生状況
1	那覇	墜落・転落	クレーン	その他の金属製品製造業	2月下旬	60歳台以上	50~99	天井クレーンの整備及び点検作業において、地上約7mの高さのガードからコンクリート床に墜落したものの。
2	那覇	墜落・転落	トラック	その他の廃棄物処理業	2月中旬	50歳台	100~299	ごみ収集車の後方右側ステップに乗りしていたところ、右折した際にバランスを崩し転落したものの。
3	宮古	激突され	建設用機械等(掘削用機械)	その他の土木工事業	4月中旬	60歳台以上	1~9	擁壁の石積作業において、被災者が擁壁頂部より作業箇所を確認作業を行っていたところ、旋回したドラブショベルの後端部に接触し、擁壁から転落したものの。
4	八重山	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	5月中旬	10歳台	10~29	建物の基礎型枠解体作業中に体調を崩し、休憩後に救急搬送され、熱中症と診断された。
5	那覇	その他	その他の起因物	社会福祉施設	3月下旬	40歳台	1~9	新型コロナウイルスによるもの。
6	名護	崩壊・倒壊	その他の仮設物、建築物、構築物等	港湾荷役業	5月下旬	60歳台以上	1~9	同僚と2名で倉庫の鉄扉を閉めていた際に、扉が倒れ下敷きとなった。
7	那覇	激突	建設用機械等(締め用機械)	道路建設工事業	6月下旬	50歳台	10~29	被災者がローラーを運転し締め作業を行っていた際に、ローラーを後退したところ、切梁が後頭部に激突した。
8	八重山	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業	7月上旬	50歳台	1~9	建物の基礎のコンクリート打設補助作業後、昼休憩中に体調が悪化して救急搬送され、熱中症と診断された。
9	沖縄	激突され	建築物・構築物	警備業	7月中旬	60歳台以上	100~299	ふ頭のゲートにおいて、門扉中央付近で被災者が倒れているところを発見された。
10	那覇	爆発	炉、窯	クリーニング業	10月中旬	50歳台	50~99	焼却炉内で爆発が発生したことにより、焼却炉の扉が開き、当該扉が被災者に激突した。
11	沖縄	墜落・転落	作業床・歩み板	その他建設業	11月下旬	50歳台	1~9	ヤード内に設置されたパイプ棚の前で被災者が倒れているところを発見された。
12	沖縄	その他	起因物なし	道路建設工事業	3月上旬	40歳台	30~49	作業再開の待機中に、トラック内において意識がない状態で発見された。

令和4年 業種別署別労働災害発生状況 (5月末累計)

沖縄労働局

年・署別・局計等 業 種	令和4年(5月末累計)						令和3年(5月末累計)						局計対令和3年比較	
	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	那覇	沖縄	名護	宮古	八重山	局計	増減数 (人)	増減率 (%)
製 造 業	24	30	7	3	7	71	(1) 39	15	5	2	3	(1) 64	7	10.9
食料品製造業	14	14	5		4	37	29	9	4	2	2	46	▽9	▽19.6
鉱 業						0						0	0	-
建 設 業	37	17	11	5	2	72	27	29	9	(1) 2	(1) 1	(2) 68	4	5.9
土木工事業	6	3	3	3	1	16	4	3	3	(1) 1		(1) 11	5	45.5
建築工事業	30	13	6	1	1	51	13	23	2	1	(1) 1	(1) 40	11	27.5
交通運輸事業	5	1			1	7	3	1		1		5	2	40.0
陸上貨物運送事業	13	3		1		17	19	2				21	▽4	▽19.0
港湾荷役業			1	1		2	2					2	0	0.0
林 業						0						0	0	-
農業、畜産・水産業	2		5			7	1	2	1		1	5	2	40.0
第三次産業(運輸を除く)	(1) 178	159	44	15	17	(1) 413	(1) 132	78	30	23	16	(1) 279	134	48.0
商 業	33	23	2	1		59	37	18	7	1	5	68	▽9	▽13.2
小 売 業	18	20	1	1		40	22	15	7	1	5	50	▽10	▽20.0
接客娯楽業	12	9	4	3	5	33	16	21	3	4	5	49	▽16	▽32.7
旅館・ホテル		2	1	1	3	7	9	8	2	2	3	24	▽17	▽70.8
飲食店	5	6	2	2	2	17	6	7		1	2	16	1	6.3
保健衛生業	103	108	32	2	11	256	47	17	15	16	3	98	158	161.2
社会福祉施設	56	89	32	2	5	184	29	13	10	16	3	71	113	159.2
ビルメンテナンス業	9	7	3	2		21	12	2	2			16	5	31.3
その他の産業	(1) 21	12	3	7	1	(1) 44	(1) 20	20	3	2	3	(1) 48	▽4	▽8.3
全 産 業	(1) 259	(0) 210	(0) 68	(0) 25	(0) 27	(1) 589	(2) 223	(0) 127	(0) 45	(1) 28	(1) 21	(4) 444	145	32.7

- (注) 1. 労働者死傷病報告により作成したもの。 4. 交通運輸事業は、鉄道・軌道・水運・航空業、道路旅客運送業を示す。
 2. 被災者数の枠の左側()は死亡者数で内数。 5. 陸上貨物運送事業は、道路貨物運送業、その他の運輸交通業及び港湾荷役業を除く貨物取扱業を示す。
 3. 「▽」は減少を示す。 6. その他の業種は、金融広告業、映画・演劇業、通信業、教育研究、清掃・と畜(ビルメン除く)、官公署、その他の事業を示す。

令和4年 死亡災害発生状況 (5月末現在)

沖縄労働局

番号	所轄署	事故の型	起因物	業種別	発生時期	年齢	労働者数 (規模別)	発生状況
1	那 覇	交通事故 (その他)	その他の乗物	その他の事業	3月中旬	60歳台以上	10~29	乗務していた飛行機が墜落したもの。

※労働者死傷病報告による。統計情報は今後の調査により修正される場合があります。

令和
4年度

免許試験 (沖縄地区出張特別試験) 沖縄会場第 1 回目 受験申請書の受付 について

1 沖縄会場第 1 回目

試験日 令和 4 年 9 月 18 日 (日)
 試験場 琉球大学 共通教育棟 (西原町字千原 1)

2 受験申請書の受付期間

令和4年7月11日(月)~7月22日(金) 必着
 受付時間 9:00~12:00、13:00~16:00 ※土・日・祝日、除く
 ※① 学科試験手数料・・・6,800 円 (事前に金融機関で払い込んでください)
 ② 受験者数の定員は、設けない予定です。
 ③ 受験申請書は、沖縄県労働基準協会各支部で配布しております。

主催 公益財団法人 安全衛生技術試験協会 九州安全衛生技術センター 協力 一般社団法人 沖縄県労働基準協会

沖縄産業保健総合支援センターからのお知らせ

衛生管理者等研修(人事担当者、産業看護職等)をオンライン(Zoom)で開催しています。(*一部を除く)
 当センターとは遠方で受講機会に恵まれなかった事業場の皆様の受講をお待ちしています。(研修は無料です。)
 研修の詳細、お申込みについては、沖縄産業保健総合支援センターのホームページをご確認ください。



https://www.okinawas.johas.go.jp



講習会のご案内 (令和 4 年 8 月分)

各講習の日程表など詳細については、当協会ホームページにも掲載しております。



二次元
バーコードからも
ご確認頂けます。

項目	講習名	実施日・実施会場	受講料等 (テキスト代他全て込み)	
事業部 (教習センター) ☎ (098) 979-7897 ☎ 979-9975	玉掛け技能講習	学 8/1(月)~2(火) うるマルシェ2階(うるま市前原) 実 A班8/3(水)、B班4(木)、C班5(金) 教習センター(うるま市州崎)	免除有 26,030 円 免除無 28,230 円	
	第一種衛生管理者免許試験準備講習	8/3(水)~5(金) うるマルシェ2階(うるま市前原)	会 員 20,020 円 非会員 26,620 円	
	アーク溶接特別教育	8/4(木)~7(日) 学 沖縄市産業交流センター(沖縄市泡瀬) 実 美来工科高校 機械システム科溶接実習室 (沖縄市越來)	会 員 15,910 円 非会員 19,210 円	
	潜水士免許試験準備講習	8/8(月)~10(水) 沖縄建設労働者研修福祉センター3 階(浦添市牧港)	会 員 18,700 円 非会員 20,900 円	
	那覇支部 ☎ (098) 868-2831 ☎ 869-1714	フォークリフト運転技能講習	学 8/15(月)うるマルシェ2階(うるま市前原) 実 A班 8/16(火)~19(金)、B班 8/22(月)~25(木) 教習センター(うるま市州崎)	47,150 円
		特定化学物質・四アルキル鉛等作業主任者技能講習	8/16(火)~17(水) うるマルシェ2階(うるま市前原)	13,380 円
	中部支部 ☎ (098) 937-0162 ☎ 937-0163	職長・安全衛生責任者教育	8/18(木)~19(金) うるマルシェ2階(うるま市前原)	会 員 16,350 円 非会員 21,850 円
		自由研削といしの取替等の業務に係る特別教育	8/22(月) 沖縄市産業交流センター(沖縄市泡瀬)	会 員 9,420 円 非会員 12,720 円
第二種衛生管理者免許試験準備講習		8/23(火)~25(木) うるマルシェ2階(うるま市前原)	会 員 18,040 円 非会員 24,640 円	
フルハーネス型墜落制止用器具特別教育		8/26(金) 学 うるマルシェ2階会議室(うるま市前原) 実 教習センター(うるま市州崎)	会 員 9,090 円 非会員 12,390 円	
北部支部 ☎ (0980) 54-4700 ☎ 52-7004	ガス溶接技能講習	8/16(火)~18(木) 学 北部会館3階(名護市宇茂佐の森) 実 名護商工高校機械システム科 溶接実習室	12,280 円	
	小型移動式クレーン運転技能講習	学 8/29(月)~30(火) 北部会館3階(名護市宇茂佐の森) 実 A班 8/31(水)、B班 9/1(木) ネオパークオキナワ駐車場	二科目免除 24,105 円 一科目免除 26,305 円 免除無 28,505 円	
宮古支部 ☎ (0980) 73-1455 ☎ 73-6511	安全衛生推進者養成講習	8/23(火)~24(水) 宮古建設会館 2階ホール	13,930 円	
八重山支部 ☎ (0980) 88-5355 ☎ 88-5360	小型移動式クレーン運転技能講習	8/24(水)~26(金) 学 桵紫電舎(2階会議室) 実 石垣港南ぬ浜町ふ頭用地	二科目免除 24,105 円 一科目免除 26,305 円 免除無 28,505 円	
	自由研削といしの取替等の業務に係る特別教育	8/18(木) 桵紫電舎(2階会議室)	会 員 9,420 円 非会員 12,720 円	

各講習の日程表・受講申請書が必要な方・定員の確認は、各支部へお問い合わせください。

- ・受講予約者が定員に達している場合には、キャンセル待ちとなりますので、ご了承ください。
- ・令和 4 年度の講習から「受講申込書」の様式が変更となりました。協会ホームページよりダウンロードすることが可能です。
- ・緊急事態宣言等により、会場、日程を変更することがありますので、ご理解の程お願いいたします。
- ・「講習会における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を定め実施しておりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

新規加入事業場のご紹介 (5月16日~6月15日)

協会支部名	事業場名	所在地
中 部 支 部	成功沖縄コンストラクション株式会社	非公開
	安富祖公民館	恩納村字安富祖 1 20
北 部 支 部	琉栄開発株式会社	名護市大東 2-3-26
宮 古 支 部	株式会社シンクエンタープライズ	宮古島市平良字西里 303-3
	株式会社AOI建築工房	宮古島市平良字西里 10-3 比嘉ビル 1 階
八 重 山 支 部	合同会社新里組	石垣市石垣 261-103

※次の理事会にて承認予定

めんそ〜れ
沖縄県
労働基準協会へ



沖縄県労働基準協会だより

発行所 / 一般社団法人 沖縄県労働基準協会
〒900-0001 那覇市港町 2-5-23 TEL: 098-868-2826 FAX: 098-869-1714
発行人 / 会長 古波津 昇 定価 / 1部 50 円 (会員の購読料は会費の中に含む)